



「ダイヤの一部変更及び運用改訂実施について」の提案を受ける！

地本は会社より、「ダイヤの一部変更及び運用改訂実施について」の提案を受けました。「京葉線の快速運転時間帯の変更、通勤快速および快速の各駅停車化」において、提案時には「コロナ以前の乗車率と比較して戻りが少なく各駅停車のご利用が増えている状況を踏まえた。」と述べていたが、自治体やお客さまから反発の声が広がり、千葉市長からは「ダイヤ改正の撤回・再考を強く申し入れた」と報道される事態となりました。申8号交渉では、「このような事態になったことは想定外だった。各自治体内でどのように展開されたかは知る由もない。」との回答であったが、組合員からはお客さまのご利用状況の把握の仕方に疑問の声が多く寄せられていました。

ダイヤ改正直前での「房総特急一部編成両数変更」に続き異例の事態が繰り返され、我々の労働条件は悪化の一途をたどっています。しっかりと検証をしていきましょう！

1. 変更内容

朝・夜時間帯の京葉線と内房線・外房線を直通する一部の各駅停車を快速に変更

快速運転時間帯の拡大

2. 変更日

2024年9月1日(日)

ダイヤの一部変更に伴い運用改訂を実施する

3. 対象区所

千葉統括センター、木更津統括センター、蘇我運輸区、蘇我運輸区京葉派出

4. 諸元

乗務員乗務キロ及び労働時間

5. その他

必要な準備等は実施する

【特徴的な議論内容】

(組合) プレス前に報道されている事に対する経緯は？社員に対しては情報統制を求められるが、**プレス発表後に提案される事は遺憾である**。現場でもプレス後に社員説明されることに不満の声がある。

(会社) 会社として自治体等必要な所に説明。当然にも情報統制も行ってた。情報がどこからどう漏れたのかはわからない。事前に報道された事については分かりかねる。

(組合) 今回の改正に至った経緯は？

(会社) 京葉線混雑の平準化等ある程度成果はあったが、内房・外房線からの速達性に思いが至らなかった。

(組合) 習志野市長からの一部報道があるが、その件についてはどうか？

(会社) 快速増便による乗車機会が減る事のないように最大限配慮はしてきた。

(組合) なぜ9月1日に実施のタイミングになったのか？

(会社) 1年を待たずにやれることを検討し、車両、乗務員、他線区等の調整がついた為、出来るだけ早く実施した。

(組合) **蘇我運輸区京葉派出所では快速の担当が休日下り1本のみ。43人転勤者が来て、新人見習いもいる中で快速運転の教育が不十分だ。急遽快速を担当する場合は安全面で不安がある。**

(会社) **今後の課題として受け止める。**

(組合) 夜間上りで間が空く時間帯がある。イベントが開催された際乗り切れなく駅も入場規制を掛けているが、本数を増やす考えは？

(会社) イベントの規模感、利用状況を見て、必要に応じて臨時列車等は設定していく。

安全を基軸にお客さま、地域に密着した輸送体系にするため、職場での検証運動を取り組もう！